

# ESAのスパム隔離に電子メールを転送するためのコンテンツフィルタの使用

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、スパムとしてマークされていない電子メールをスパム検疫に転送するための設定について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Secure Email Gateway(SEG/ESA)
- コンテンツフィルタの知識
- 検疫の知識
- スパム検疫に関する知識

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Eメールセキュリティ アプライアンス

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

スパム検疫の目的は、スパムとしてマークされた電子メールを検疫することですが、組織のニーズに関連して、スパムとして分類されていない電子メールをスパム検疫に転送することができます。

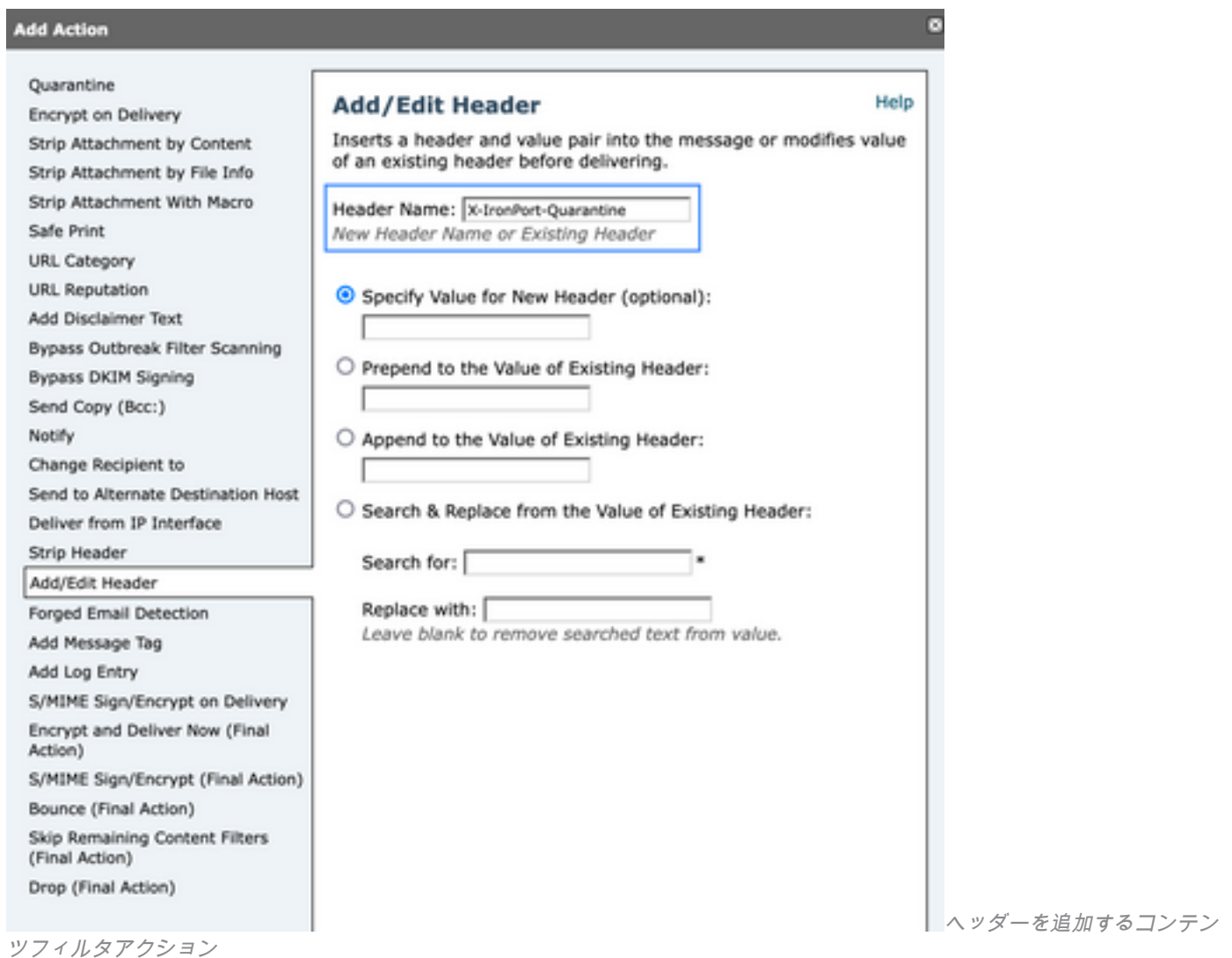
注意：エンドユーザ隔離アクセスについて確実に理解してください。

## 設定

ESAでコンテンツフィルタを作成します。

1. 移動先 Mail Policies > Incoming/Outgoing content filters
2. クリック Add Filter
3. フィルタに名前を付ける
4. 必要な条件と
5. クリック Add Action
6. 選択 Add/Edit Header
7. 利用 X-IronPort-Quarantine の場合 Header Name 値ボックス
8. Submit と Commit

図に示すように：



The screenshot shows the 'Add Action' dialog box with a sidebar of actions. The 'Add/Edit Header' action is selected. The main panel shows the 'Add/Edit Header' configuration. The 'Header Name' field is set to 'X-IronPort-Quarantine'. The 'Specify Value for New Header (optional)' radio button is selected. The 'Search for' and 'Replace with' fields are empty. The 'Help' link is visible in the top right corner.

ヘッダーを追加するコンテンツフィルタアクション

完了するには、このフィルタを目的の着信/発信メールポリシーに適用します。

## 関連情報

- [エンドユーザガイドESA](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。